



## 土砂災害防止月間 - 出水期への備え -

地球温暖化に伴う気候変動により熱帯低気圧の強度が増大するとともに大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加や激甚化が懸念されています。災害はいつ、どんな形でやってくるかわかりません。いざというときに落ち着いて行動できるよう、日ごろから心構えをしておきましょう。

### 日ごろからの心構え

#### ▶ 避難所・経路の事前確認

避難所までの経路は、あらかじめ決めておき、日ごろから安全に通行できるか確認しておきましょう。

#### ▶ 避難先の検討

可能な場合は、安全な親戚や知人の家、ホテル、旅館などへの避難も検討してください。

※要配慮避難者がホテルや旅館などへ避難する場合の補助があります。

#### ▶ 正確な情報収集を

市のお知らせやラジオやテレビなどからの気象情報には十分注意しましょう。

各災害の危険区域などは防災アプリ(伊達なうわじま安心ナビ)で確認できます。

ID: 0044263



## 避難行動

### 立退き避難

災害リスクのある区域の自宅や施設などにいると命が脅かされるおそれがあります。避難行動の基本として、その場を離れて安全な場所に移動しましょう。



### 避難先

▶ 指定緊急避難場所、避難所

▶ 安全な親戚・知人宅、ホテル、旅館などの自主的な避難先



### 関係災害

洪水および内水氾濫、土砂災害、高潮、津波  
※洪水および内水氾濫、高潮の場合、避難対象区域によっては屋内安全確保を選択できます。

### タイミング

警戒レベル3(高齢者等避難)、警戒レベル4(避難指示)の発令時など

## 屋内安全確保



安全のためには立退き避難が望ましいですが、洪水や高潮などは自宅や施設などの上階への避難や高層階に留まることで計画的に身の安全を確保できる場合があります。ハザードマップなどを確認し、自らの判断で行動しましょう。

### 避難先

- ▶ 自宅や施設などの浸水しない上階への避難(垂直避難)
- ▶ 自宅や施設などの浸水しない上層階に留まる(待避)

### 関係災害

洪水および内水氾濫、高潮  
(浸水深が50cm未満と想定される範囲内など)

自宅や施設などは浸水するおそれがあるため、屋内安全確保を行うためには少なくとも次の条件が満たされている必要があります。

- ▶ 自宅や施設などが家屋倒壊等氾濫想定区域にないこと
- ▶ 自宅や施設などに浸水しない居室があること
- ▶ 自宅や施設などが一定期間浸水することで生じる可能性がある支障を許容できること

### タイミング

警戒レベル3(高齢者等避難)、警戒レベル4(避難指示)の発令時など



## 急激に災害が切迫した場合

## 緊急安全確保

避難し遅れたために災害が発生、切迫し、安全に立退き避難ができない場合があります。その場合は行動を変容し、命の危険から身の安全を可能な限り確保してください。



### 避難先

- ▶ 自宅や施設などの少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動したり、近くの高い建物などに移動したりする。
- ▶ 自宅や施設などの崖から少しでも離れた2階以上の部屋で待避したり、近くの堅牢な建物に移動したりする。

### 関係災害

洪水および内水氾濫、土砂災害、高潮、津波

### タイミング

警戒レベル5(緊急安全確保)の発令時など

## 宇和島市土砂災害等防災訓練を実施します

記録的な大雨による土砂災害などの発生を想定し、住民主導による避難訓練および情報伝達訓練を実施します。

- 日 6月6日(日) 午前8時30分～(雨天決行) 対 市内全域  
内 平成30年7月豪雨で観測された記録的な大雨により、市内の土砂災害警戒区域などや須賀川洪水浸水想定区域に避難指示を発令

ID：2021060600

## ホテル・旅館などへの要配慮避難者への補助 要配慮避難者等宿泊施設利用補助金

新型コロナウイルス感染症対策として、市から避難情報が発令され、妊産婦や高齢者など配慮が必要な避難者などが市内のホテルなどを避難先として利用した場合に、宿泊・移動費の一部を補助します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ID：20210511

問 危機管理課 ☎49-7006 FAX 24-6094